



山形県立村山特別支援学校のホームページへようこそ

□ はじめに

山形県立村山特別支援学校のホームページにお越しいただきましてありがとうございます。

令和7年度も、引き続き村山特別支援学校の校長を務めます、矢野裕之です。

子どもたちを真ん中にした教育をおこなっていくことで、子どもたちが学校って楽しいと思うような、そして保護者や地域のみなさまに信頼される学校づくりをしていきたいと思っております。よろしく願います。

□ 今年度の学校教育目標とスローガンについて

学校教育目標は「**すすんで学び、よりよく生きる人を育てる**」、職員全員で達成をめざすスローガンを「**子どもを真ん中においた教育の推進 村特イチガン**」としました。

このスローガンにした理由は、村山特別支援学校は本校、山形校、天童校がありますが、それぞれの学校が、それぞれの強みを生かした学習を展開しております。一例をあげると、小中高の全児童生徒の縦割り学習や隣接、併設している他校との交流、地域の資源などを生かした学習などが行われております。

それらの学習を職員、村特にかかわる方々が、団結し同じ方向を向くことで、これまで以上の教育効果を得ることができるのではないかと考え、スローガンを設定しました。

今年度も保護者、地域、教職員がスクラムを組み、子どもたちのより良い成長をめざします。

□ 学校の様子

4月8日（火）天童校、10日（木）本校、11日（金）山形校それぞれにおいて、令和7年度のスタートである第1学期始業式と入学式を行いました。

午前中は在校生がとてもうれしそうに登校したのが印象的でした。本人なりに「こんなことがんばりたい」、「こんなことができるようになりたい」と新年度に期待して、登校したのではと思います。

午後に行われた入学式では、小学部、中学部、高等部、本校分校合わせて44名の子どもたちが、緊張している様子もありましたが、うれしさをそれぞれに表現して式に臨んでいました。

今年度入学した子どもたち合わせて、全校生は231名となりました。

現在、一人一人がそれぞれに目標を持ち、元気に学習活動を行っています（ちょっと、教室や友人、担任の先生など、環境の変化にとまどっている子どももおります）。

これからも、日々の学習のみならず、修学旅行や「むらとくまつり」などの行事、産業現場等における実習、バザーなどの販売活動等をとおして、子どもたちの成長につながる学習を展開していく予定です。

今年度も、村山特別支援学校に対してのご理解、ご協力をお願いいたします。

山形県立村山特別支援学校

校長 矢野 裕之